🔟 H2V Manager

ファームウェアバージョン(Ver.1.91)の変更点とセンター見える化サイト(ブラウザ)の追加

2012年12月17日に実施するH2V GatewayファームウェアバージョンアップによるH2V Manager(ローカルサイト)の変更点と、センター見える化サイト(ブラウザ)についてご説明します。

1. H2V Gatewayのファームウェア(Ver.1.91)を更新すると、パソコンのブラウザでご利用いただいている H2V Manager(ローカルサイト)の「設定」が変更になります。



【削除になる設定】

・『メール設定』(H2V会員向けサービス)

『メール設定』はスマートフォンアプリ(H2V Manager)もしくは、「センター見える化サイト」(パソコン ブラウザ)から行ってください。

「センター見える化サイト」は『ユーザー情報』から開くことができます。

【ファームウェアVer1.82以前のメール設定】

【「センター見える化サイト」設定→メール設定】



【追加になる設定】

・『家電操作』

ECHONET Lite対応エアコンのON/OFF操作ができます。 ※ECHONET Lite対応機器の確認は、エアコンの取扱説明書でご確認ください。

【ファームウェアVer1.91家電操作】

ホーム	🗒 家電操作	F		
 予約設定 	機器情報	設置場所	電源の状態	
	エアコン	居間、リビング	ON	O OFF
副 家電操作	エアコン	浴室、バス	() ON	OFF
各種設定	エアコン	部屋-1	ON	O OFF
🌮 計測設定	エアコン	部屋-2	ON	O OFF
🝰 ユーザー情報	エアコン	部屋−3	ON	OFF
システム情報				

『計測設定』 PHV/EV充電回路、分岐回路(100V)、分岐回路(200V) の内、計測する回路の種別を選択します。 計測設定を変更する時は、CTの取り付け直しが必要です。

クルマ充電から分岐回路計測(100V)/(200V)に設定変更 するには

→分岐CT、分岐CTケープル(オプション品)をご購入ください。 H2V Controllerと分電盤の間に分岐CTケーブルをつなげます。 (電気工事が必要になります) 分電盤内の分岐ブレーカーに分岐CTを取り付けます。

【ご注意】

H2V Managerを利用したクルマの充電ができなくなります。 (充電リレーがOFFになります) 補助金を受けている場合は補助金の適用条件から外れ、 返還を求められます。

分岐回路計測(100V)/(200V)からクルマ充電に設定変更 するには

→H2V Controllerの充電リレー経由で充電回路を配線します。 (充電設備の電気工事が必要になります) 充電回路に充電用CTを取り付けます。(電気工事が必要になります)

【ご注意】

補助金を受けている場合は補助金の適用条件から外れ、返還を求められます。

分岐回路計測(100V)と分岐回路計測(200V)間で設定変更するには

→分岐CTの取り付け直しが必要です。(電気工事が必要になります)



詳しくは、H2V Manager取扱説明書(ファームウェア Ver.1.91以降)をダウンロードして頂き、 パソコンのローカルサイト(P45-52)、パソコンのセンター見える化サイト(P63-74)をご覧ください。

【ファームウェアVer1.91以降計測設定】

时 H2V Manager



2. パソコンの「センター見える化サイト」がご利用できます。(H2V会員向けサービス) 「センター見える化サイト」では、トヨタスメートセンターに蓄積された電力消費データを元に電力グラフを表示 します。

※クルマの充電予約などを制御する機能はありません。クルマの充電予約などはH2V Managerローカルサイトもしくはスマートフォンアプリを ご利用ください。



パソコンの「見える化サイト」は、現在の消費電力・今日の消費電力・過去4週間の消費電力量や電気料金が 「ひと目」でわかります。

さらに、過去の日付や月を指定して詳細な消費電力量や電気料金が表示できます。 (今日/過去日(1ヶ月以内の日)、今月/過去月(13ヶ月以内の月)をグラフと数値で比較表示します。) 1ヶ月の目標電力量や目標電気料金はグラフに表示されるので、節電意識が高まります。

詳しくは、H2V Manager取扱説明書(ファームウェア Ver.1.91以降)をダウンロードして頂き、 パソコンのセンター見える化サイト(P63-74)をご覧ください。

URL https://www.tsc-h2v.com/manager/